凡例:完了して	こいるものは青字、継続中のものは緑字、未対 <mark>応</mark>	のものは赤字で記り	覚する。																			(北陸地里		爲市)
Гa	原度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	署		新潟水源林整備事	務所		新潟地方気象台	1		新潟県			新潟市		
項目 主な取組 ニュー	まな取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
	成に向けた治水対策の推進 (河川における対策)																							
■被災施制	受等の迅速な復日 場所、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		-	令和元年東日本台風を受け、護岸崩 場や埋跡漏水等の12箇所で施設被 言が発生したことから災害復旧工事 を実施 12箇所全てで復旧を完了	【短期】 R元年度から実施	0			_									1	無沼地区では北元年度に3回の河川 災害が毎生したが、現時点で河川 災害後日至十年でデリた。 十日町地区で被災した援岸の復旧 工事を実施中。 急速経区は近年度中に第7予定。 信濃川では22年度中に第6万を度らが完 7、信濃川では32年度中に全11箇所の復旧が完 7、信濃川では32年度中に全11箇所の復旧が完 7、任濃川では32年度中に全11箇所の復旧が	引き続き 実施	0			
■河川水化	立の低下及び洪水流下断面を向上させるための取	組																	完了予定。					
	遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	1		令和6年 度で で で で で で で で す す す す す す す す す す す	0			_															
		大河津分水路の改 修		中流域最大のボトルネックとなって いる大河津分水路河口部の狭字部を 解消するため、山地部維納や第二 床間改築等の事業を推進。 事業効果の早期発現に向け、引き続 き整備を推進する。		0																		
	洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	河道掘削 樹木伐採	1	事故者表土規模の洗水毛を油下させる。 ための個本校長・河道密解制プロジョン 短期的には、緊急治水質を海に対す。 に対しては、果の機能を の本の機能を の本のでは、果ないでは、 の本のでは、 のまたが、 の本のでは、 のない、 の本のでは、 のない、 のな、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のな、 のな、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな	短期的整 開いて の の の の の の の の の の の の の	0																		
		築堤	1	戦後悪大規模の派水等を法下させる ための健節整備を実施。 松均を保から小千谷市塩酸地区、川 大・堤防からの地区のも地区におい て、堤防からの地域になったの地域が整備を実施 美水を防止するの地域が整備を実施 施。 、緊急追入対策ブロシェクトとして 実施するの地区(塩酸・川井・岩沢 でした)の堤防撃機を利3年度、 大・を応する地区(塩酸・川井・岩沢 でした)の堤防撃機を利3年度、 下、その他、引き続き堤防断面不足 国所の解消を図り		0												_	家屋部の浸水を防止するために、 信濃川の8地区において繁建。 全3地区において繁煌(向けた取租 を実施中、 3地区については、20年度中に繁堤 丁事着手。 引き続き変担工事を実施。		0			
■施設規模	莫を上回る洪水に対する取組																		力で就で来ルエザと大肥。					
	危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補 強・天端舗装	2	引年度から長期市黒津町地区、海池 区、炒曳町地区、南急部木水裏新田 地区において危機管理型ハー下対策 を実施。 長岡市黒津町地区、浦地区、炒曳町 地区については702年度に整備デア 南急沼市水尾町地区については703 年度に整備デア。		0			_									_			_			
■既存施書	gを活用した洪水被害軽減対策			浸透等の作用に対する堤防の安全性	【長期】																			
	堤防の強化(浸透対策等)	堤防の強化	1	張藩等の作用に対する経販の安全性 を確保するための提防強化を実施。 制年度から長間市寺治鮮長地区、美 市新景板区において、堤防の漏水対 策を実施する。 長間市寺治新長地区、即年12月末まで に、200円の改築等を行う一部区間 を表現を図と、34年出籍期前までに 完成予度 それ4年後に、気油市市田地区にお いて浸透が展光の、ハギ 谷市千地区、気油市市田地区にお いて浸透が展光の		0			_									_						
	既存の排水機場、ダム、環などの河川管理施 設について、更なる洪水被害を認め可能性に 着いて検討を行うとともに、必要な対策を実	既存ダムの事前放 流を伴う治水協力	39	附年度から、信濃川水系に設置され 者等との間にお様な実施 するための体制を発生実施 するための体制を発生実施 を実施するための体制を発生を実施する。 ・三国川ダムは、利水事業者と事前 変質を衰乏済み 利水がよりでは 利水がよりでは 利水がよりでは ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国川ダムは、 ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・一三国・ ・「一三国川 ・「一三国・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		0													総関川ダムは、利水事業者と事前 放流については譲し、事前放流実 施要領を策定中。 同上	【短期】 R2年度に完了予定	0 -			
■ 351 \(\text{\tint{\text{\tin}}\text{\tint{\text{\tinte\tint{\till}}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\till}}}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\till}}\\ \tettitet{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\teint{\tinit}\tilitht{\texi}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\til\til\til\til\til\til\til\til\til\til	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	既存の堰等の洪水 時における操作改 定		大河津洗堰の運用規則変更による、 決水時の緊急的な放流の実施検討 令和2年度は洪水時に洗堰下流へ洪 水の一部を物造できるよう運用を変														-						
■州理・7	リードでは、水門等の通切な維持管理 提防や環、水門等の通切な維持管理		_	環防や魔、水門等の定期的な点検を 実施し、必要な維持修繕を実施す る。 定期的な点様を実施し、点検の結果 に基づき必要な維持修繕を実施して いる。		0												-	用房子人。英年今爻。 祝山ダ人。 安実 「名人」、「本年今月 一年 別の山谷豊勝を実施している。 増上がの発生所を実施している。 増上をの要えていては、様分量の増加などを見ながら対応できる事業及び事業 の質差を検討する。 五十歳川下洗部頭音工の計度 化、護坪補強等を実施する。	【長期】 【短期】 RA~RSに 実施 (予定)				

資料3-2

	#災害防止・軽減」「氷げ遅れガロ」「針金級:	済被害の是小化・									_			+ w ~							1	(北陸地	
- 1913	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	~. WE W.1. IP]		北陸地整	_		北陸農政局			中越森林管理	*		新潟水源林整備和	▶ 扬 所		新潟地方気象	i i		新潟県			新潟市	
主な取組メ ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策エクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期
	河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		-	河道掘削・樹木伎保を実施 支川から排出された堆積土砂や、; 川管理上支障となっている樹木伎! について実施中。	【長期】 引き続き 実施 引き続き	0													防災・減災、国土強靭化のための 35か年 緊急対策 加速化対策で河床 機削、伐木を予定 (以下「重要イン フラ緊急対策))で河道のの地積上 砂の搬去、樹木の伐木を実施。 R2年度に信濃川の地積土砂を撤去。	【中期】 引き続き 実施 R2年度完 了	0		
A 10 10 116	した浸水被害軽減対策の推進(流域における対	Afr.		について実施中。																			
支流の流	した浸水板香鞋減対策の推進(流域における対 出抑制の取組	末)																				学校グラウンドからの雨水流出を 抑制するため、雨水貯留施設を整	T
		公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備	_																			備	
		水貯留施設の整備																				概ねの学校グラウンドには雨水貯 留施設を整備完了	引き続き 適正な維 持管理を 実施
																			・地域の自発的な共同活動として 行う流出抑制の「田んぽダム」の 取組について、市町村等と連携し 普及啓発に取り組んでいる。	継続		田んぼダムの利活用促進	
		田んぽダムの推進	_				· 中央社员支撑。 四人代於	21.46											the side of the late of the la	314644		m / 17 8 / 0 30 82 3 3 35 0 8 4 1 -	31 + 68 +
							・県、市町村と連携し、田んぼダ ムの普及啓発に取り組んでいる。	・引さ続き実施											有効な協力の呼びかけ方法、周知 も含め実施を検討する市への支援	引さ続さ 検討		田んぽダムの取組み面積の拡大に 向けた普及啓発	写き続き
	雨水貯留施設、田んぽダム、透水性舗装の整 備等																						
		浸透性舗装、側 溝、ますの設置	-																				
																						各戸からの雨水流出を抑制するため、雨水浸透桝や雨水貯留施設の 設置費に対する助成制度	
		各戸貯留施設の費 用補助	-																				引き続き実施
川氾濫打	印制、内水被害を軽減する取組																						
		河道掘削	1			-															-		
	支川水路における氾濫抑制対策																						
		雨水渠の流下能力 増強																					
-																			め、施設の機能向上や、地盤次下 により機能が低下した施設の機能	継続		・雨水ポンプ場施設を整備 ・排水機場の耐水化	
		位・金属の数件																	回復など、重要度・緊急度に応じた整備や、既存施設の長寿命化を 図る。 ・農業用用排水施設の新設、廃止 又は変更を実施するもの				
		排水機場の整備、 増設	29																【南魚沼地域】 「は場整備事業 3地区 ため池改修事業 1地区	維続		・信濃川へ排水する雨水ポンプ場 の調査・設計及び関係者協議を進	引き続き 整備を
																			ため池改修事業 1地区			・信濃川へ排水する雨水ポンプ場 の調査・設計及び関係者協議を進 める。ポンプ場流入幹線の工事実 施中。 ・排水機場更新のタイミングに合 わせて耐水化を実施	施
	排水機場の整備	放流先の見直し	29																				
				R2年度から緊急排水ポンプ車・照日車等の増設	明【短期】																		
		排水ポンプ車等の 整備	_	長岡市左近地区に災害対策車両基 を新規で整備。排水ボンブ車2台、 照明車2台を新たに配備	1	0			-												-		

	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対 <mark>応</mark>		載する。																		(北陸地	整~新	潟市)
T#	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理	署		新潟水源林整備等	務所		新潟地方気象台		新潟県			新潟市		
項目 主な取組 ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期 緊急法 対策フ ジェク	水 口 実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
																		・ポンプ施設、ゲート施設を整備・管理する機関の耐水化を図る 「農地】排水機場の耐水化を図る ため、更新を含めた事業化が計画 されている排水機場について、関 係機関と調整、検討していく。	【中期】順次実施		排水機場の耐水化		
	排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化	. 29				今後更新される排水機場について は、耐水化等の対策を検討する。	引き続き実施	-									【河川】大平沢川排水機場の老朽 化対策(15年度完成予定)と合わ セマ耐水化を図る。与板排水機場 他維水機場の老朽化で耐水化を1 のて検討予定。 【農地】R4年度は1施設を整備(長排水機場)。その他、排水機場 については31き続き調整、検討。	実施	0	排水機場更新のタイミングに合わ せて耐水化を実施	引き続き実施	_
■大規模3	(害時における迅速な復旧支援の取組																						
				河川防災ステーションや資機材を備 蓄する拠点等の整備を実施する。 現在、長岡地区における河川防災ス テーション整備を検討	【長期】																水防センターの整備を行う。 (新潟市江南区天野地区)	【短期】 R 1~R 4予定	
		河川防災ステー ション等の整備	26	令和3年度より長岡河川防災ステー ション(長岡市信濃地区及び左近地 区)の整備に着手。左近町において は令和3年6月に災害対策車両基地	리소송소	0			_			-								-	天野河川防災ステーション内において、水 防センターの整備を実施中	k 引き続き 実施	-
	緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備			は5年6月に災害対策事両条地 を整備 大規模水害時の復旧活動等を円滑に するため、堤防沿いや近傍において 大型車輛等の通行や往来が可能なア クセス経路を確保する	1																		
		大規模水害時において大型車両等が 通行可能なアクセ ス網の整備		大型車輪等の通行や往来が可能なア クセス経路を確保する 必要な区間や堤防拡幅が可能な区間 を選定し、順次整備を実施。		0						-					_			-			-
		人網の登幅		を選定し、順次整備を実施。	実施																		
■土砂災署	に対する対策			信濃川下流水系の魚野川、清津川及び山津川湾域において、砂味堰堤等	【長期】													砂防関係施設の整備	順次実施				
	土砂・洪水氾濫への対策	土よ性いい砂な ・被高人害埋 ・被高人害埋 ・被高人害埋 を を は の い の い の の は の の は の の の の の の の の の		び中津川流域において、砂防堰堤等の整備を実施																			
		い被害の防止する 砂防堰堤等の整備 を実施。		魚野川、清津川及び中津川流域において引き続き砂防堰堤等の整備を実施。	引き続き実施													砂防関係施設整備中	引き続き実施				
		多数の家屋や重要な施設の土砂・流 木の流出による被		信濃川下流水系の魚野川、清津川及 び中津川流域において、土砂災害防 止施設等の整備を実施	【長期】													砂防関係施設の整備	順次実施				
	流木や十段の影響への対策	木の流出による被害を防止するため 害を防止するため の土砂災害防止施 設等の整備を実 施。	1	魚野川、清津川及び中津川流域において引き続き砂防施設の整備を実施。	引き続き 実施							-					+	砂防関係施設整備中	引き続き実施	-			-
■森林整仙	等における対策									本林敦隆 (A.J. Alfo Algorithm)	(F #0)		Tarran de Tarran de La Carran d	ф#-4-					/ F 403				
										森林整備・治山対策の実施	【長期】		流域内の水源林造成事業地におけ る森林整備、治山対策	夫肥甲				治山対策、間伐等の森林整備の実 施	【技術】				
	上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整 備等								間伐等の森林整備による根系等 の発速促進 治山ダムの設置等による渓床の 安定や流木の流出抑制	引き続き 実施		実施中		1		\dashv	深間エ・山腹工等の施設整備、荒 廃森林の改植・保育、間伐等の森 林整備を引き続き実施	引き続き実施	1			
											保安林 改良等に	【長期】						株登舗を引き続き美胞 保安林の維持・管理及び保全	【長期】				
	保安林の適正な配備等	保安林の維持・管 理及び保全	_							_	よる森林整備及び治山施設												
		埋及び保全									間森に系 で の 備根 を を を の の の の の の の の の の の の の	引き続き実施						保安林としての機能の維持・ 増進及び治山対策の実施	引き続き 実施				
3. 減災に向け ■住まい	│ <mark>た更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施</mark> 策 『の工夫に関する取り組み	i)									7.5.5												
				水害に強いまちづくり方策検討のた めの水害リスクの情報提供を実施	【長期】																		
	「まちづくり」による水害に強い地域への誘	都市計画マスター ブランや立地適正 化計画による水害 に強い地域へ誘導	_	多段階の確率規模の浸水想定区域を 作成し、関係機関へ情報提供を実施	引き続き 実施							-											
	克雪型住まい (高床式) 費用の助成活用の充 実	都市計画マスター プランや立地適正 化計画による水害 に強い地域へ誘導	-																				
				住まい方の工夫に関する取組とし	【長期】													住まい方の工夫に関する取組とし	順次実施		新たな漫水想定区域に対応した洪		
	不動産関係団体への水害リスク情報と周知協	不動産関係者への		住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク 情報の提供と周知協力の推進を図 る。														て、不動産関係団体への水害リス ク情報の提供と周知協力の推進を 図る。			水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。		
	力の推進	小言りヘク情報の 提供	1	浸水想定区域図等をHPにて公開済 み。 必要に応じて、順次資料提供等の支援を実施		0												市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施		新たな洪水ハザードマップを作成、公表。 新潟市ホームページにて不動産関係団体 に対して不動産取引時の注意事項を記載	H30実施済 な み	-

資料3-2

「再度』	災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経	済被害の最小化」		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理:	E		新潟水源林整備等	1 務所		新潟地方気象台		新潟県			(北陸地		
な取組メ	を目指す取組主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のた	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ		緊急治が 時期 対策プロ		時期	緊急治水 対策プロ	実施内容	時期	緊急流対策
-1-			めの取組	2,0,7,2		ジェクト	ALLITE	- 1712	ジェクト	332172	-2.742	ジェクト	XIII		ジェクト	ALC: 72	ジェクリ	20172		ジェクト	7.5.72		ÿI.
防災教育や	防災知識の普及に関する取組			防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、水害の記憶の伝承等よ り、地域防災力の向上を図る。	【長期】 R1年度か ら実施													防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図 る。	引き続き実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図 る。	引き続き	Ť
ж	A D A D D D D D D D D D D D D D D D D D	パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	á a	・水害関連動画を公開中 ・大害関連動画を公開中 ・大海津分水道係機関と連携し防災 教育やパネル展等を実施の必要 歴史や危険度、透調向上の必要は のの理解及び意識向上ののの。以降 のの理解及び意識向上ののの。以降		0			_									順次実施中	引き続き実施	0	関係機関等との連携、職員による 出前講座などで水害の記憶の伝承	引き続き 実施	-
				も引き続き取組を実施 防災教育や下い の普及に関する 取組を対して、地域住民と協しでマイ・ たが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	【長期】 R1年度か ら実施											関係機関の要請に応じて、指導計 画の気象関連部分の助言を行う。	宜実施	マイ・タイムラインの普及を図る 市町村と連携し、技術的な支援を 行う。			防災教育や防災知識の普及に関する取組として、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	ら実施	
ਕ ਗ	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及 推進	マイ・防災マッ ブ、マイ・タイ <i>L</i> ライン普及の支援	i i	・画市と協働し実務者向けの講演を 実施(R2.10.12) ・引き続き、逃げ遅れゼロ大作戦と して、流域自治体と協働でマイ・タ イムラインの作成や普及活動を実施 中。	実施	0										R03年度支援要請実額はなかった が、今後も適宜支援を実施。	-	中学校の総合学習における「マ イ・タイムライン」の作成を支援 する。	引さ続さ	0	市独自のひな形を作成し、市日 の機能を行うとともに、「にい がた前炎メール」での広報、自主 防災組織等へのチラン送付、市民 明月の防災関係イベントでの説明 など、普及啓発を実施。		
				防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、各地の教育委員会・学 校等と連携し、地域住民や小・中学 校等を対象とした防災教育の推進等 により、地域防災力の向上を図る。	ら実施											関係機関の妄跡に応じて、出前講 産等を実施する。	宜実施	市町村の要請により出前講座を積 極的に行っていく。 ・施設等の見学会を通じて、住民 に対し施設の役割を理解してもら い、状防窓識の向上を図る。【最 地】			防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や が、中学校等と連携し、地域住民や 育の推進等と対象とした防災力の 向上を図る。	5	
地の	域住民や小中学生等を対象にした防災教育 推進	出前講座による別 災教育の実施	5 g	流域内の小学生等向けに、出前講座 を実施し、水帯リスクの周野を 行った。 引き続き取り組みを推進する。	実施	0										RD3年度支援要請素機はなかったが、今後 も適宜支援を実施。	_	学校への出前講座を通じてリスク 情報の周知を図った。 引き続き実施していく。	対で続さ	0	新潟県市災害有プロラムに基づきセッキ業施。(北27年) ・表施。(北27年) ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県 ・変教育プロラムの自役化を進めている。 ・花以降、「防災教育プチ校・地域連携等・ 北定校における防災教育プラが、の見重し、 ・防災セペルトライン・ ・教育員会(学校)、家庭や地域が連携 ・教育員会(学校)、家庭や地域が連携 ・表演教会が設資育を実施	防	
	学校における避難確保計画の作成と避難訓練 推進	避難確保計画の第		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、学校における避難確保 計画の作成と避難訓練の推進等によ り、地域防災力の向上を図る。	【長期】 引き続き 実施											関係機関の要請に応じて、避難計 画の気象関連部分の助言を行う。	宜実施	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 確保計画の作成と避難訓練の推進 等の向上を図 る。	引き続き実施		要配慮者利用施利用施設について、説明会の実施やお知らせの送 付などにより避難確保計画の作成 促進を行う。	E	T
ā	性推進 推進	定と避難訓練の実施	E Ø	今後、避難計画検討に資する情報の 提供などで、策定作業を支援してい く		0										R03年度支援要請実績はなかったが、今後 も適宜支援を実施。	_	市町村と情報共有を図りながら支援する。	実施	0	・新潟市災害時情報システムに要配慮者 用施設管理を追加(H30.4~) ・要配慮者利用施設へ避難確保計画へ退 難確保計画策定の依頼を実施(H30.6~) ・未策定施設への再依頼(R2.1~)		
<i>*</i>	まるごとまちごとハザードマップの推進(浸 (深表示)	まるごとまちごと		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、地域住民と協働である なかに浸水リスクを表示する「ごとまちごとハザード・アップ」 により、地域防災カ向上を図る。	H28年度か ら順次整 備													実施を計画する市町村と連携を図り、整備を支援	ら順次整備				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(承袭小)	支援			実施 ・引き続 き実施												0.00	順次実施中	引き続き実施				
÷	原雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイム ラインの作成及び	ı î	防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、タイムラインの普及・ 更新等により地域防災力向上を図 る。 ・H28年度末にて下流域の未整備自	・H28年度 から順次 整備 ・引き続 き実施	0			_							関係機関の要請に応じて、気象関連部分の助言を行う。 	且关応 ————————————————————————————————————	タイムラインを作成・更新する市 町村と連携を図り、作成等を支援 中学校の総合学際における「マ	ら実施		関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン) の整備 関係機関と連携した防災行動計画		
		更新		治体を含め整備済み ・整備済み自治体とのホットライン 連絡先(第2名まで)を明記 ・検証や改善については、出水に応 じて適宜実施予定	から順次 整備											R03年度支援要請実績はなかったが、今後 も適宜支援を実施。		中学校の総合学習における「マ イ・タイムライン」の作成を支援 する。	実施		関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン) の整備を実施運 用。洪水対応演習時にタイムライ ンを確認。	実施	
	設の避難に関する取組の推進	施設への指導、支		要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	【長期】 引き続き 実施													要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 カ向上を図る。	順次実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 カ向上を図る。		T
地	地域防災計画への位置付けの推進	援	100	・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他間別調整の場にて 適宜オローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンブ ル及び解説集を独自に作成しHP公 開済み、														市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	-	浸水想定区域や土砂災害警戒区域 に所在する要配慮者利用施設を地 域防災計画に定めている	引き続き 実施	
31	壁難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支	ξ _(ii)	要配慮者利用施設の避難に関する取 組として、避難計画の作成と訓練の 推進等により、地域防災力の向上を 図る。	引き続き 実施	0										関係機関の要請に応じて、避難計 画の気象関連部分の助言を行う。	宜実施	要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 物により、地域防災力の 向上を図る。			要配慮者利用施利用施設について、説明会の実施やお知らせの送 付などにより避難確保計画の作成 促進を行う。		
	- CRAMON OF HELION OF 1 F 70% No. 10代表本グ3面。他	接		・協議会やその他個別調整の場にて 適宜フォローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンブ ル及び解説集を独自に作成しHP公												R03年度支援要請実績はなかったが、今後 も適宜支援を実施。		市町村と情報共有を図りながら支援する。			・新潟市災害時情報システムに要配慮者 用施設管理を追加(H30.4~) ・要配慮者利用施設へ避難確保計画へ避 難確保計画策定の依頼を実施(H30.6~) ・未策定施設への再依頼(R2.1~)	要施	
100	駐難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	190	原済か- 素配慮者利用施設の避難に関する取 組として、避難計画の作成につなが お講習会の開催等により、地域防災 力の向上を図る。														要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。			要配慮者利用施利用施設について、必要に応じて説明会の実施を 行う。 H28.11に要配慮者利用施設の管理者向に		
災害の会験!	度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組			・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて 適宜オローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンブ ル及び解説集を独自に作成しHP公 開済み	・引き続き実施													市町村と情報共有を図りながら支援する。	無 公夫認		R26.11一支ជ.原名村内北京の音味名向1 設明会を実施。	実施	
<i>y</i>	K位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の	水位周知河川の割	ž 9															必要に応じて水位周知河川の追加 及び危険水位の設定見直しを検討 する。					
	作成促進等による浸水リスク情報の周知	定	9															R01年度に割野水位局(信濃川)の危 険水位見直しを実施。	順次実施	-			4

災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会® を目指す取組			北陸地整	1		北陸農政局			中越森林管理			新潟水源林整個		_	新潟地方気象台		1	新潟県		1	新潟市	_
主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	
			信適川・魚野川において浸水想定区域図を作成・更新する	区 短期														圏域内35河川について、想定最大 規模における浸水想定区域図の作 成及び公表を行う。	短期			
	浸水想定区域図の 作成	8	・計画規模・想定最大規模の洪水に 対する浸水想定区域図を策定済み ・令和3年度は多段階の確率規模の 浸水想定区域図を作成	・必要に応じて完まり	1													・対象の内、22 32河川おいて浸水 想定区域図を公表済み(2 020 2022 年1月時点)	引き続き実施	-		
																					新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。	ı
(位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知	ハザードマップ策 定	8																		_	・新たな洪水ハザードマップを作成し全戸百 布。 ・新潟市が作成する広報誌、チラン等に新 潟市総合ハザードマップのQRコードを掲載 するなど日頃から住民への周知を図ってい	FEE H
			住民への氾濫リスクを周知するため の支援の検討	カ【長期】 H28年度か ら実施														住民への氾濫リスクを周知するた めの支援の検討	H30年度から実施	` `	するなど日頃から住民への周知を図っている。 新たな浸水想定区域に対応した洪 ボハザードマップへの改良と、出 前調隆などを活用した周知・広報 を実施する。	
	住民への周知	8																		0	を実施する。	
			・浸水想定区域図等のデータは提供 済・令和3年度は多段階の確率規模の 浸水想定区域図を作成 ・今後、避難計画検討に資する情報	共引き続き 実施														学校への出前講座を通じてリスク 情報の周知を図った。 引き続き実施していく。	引き続き実施		新たな洪水ハザードマップを作成し全戸 布。新潟市が作成する広報誌、チラシ等に新 潟市総合ハザードマップのQRコードを掲載 するなど日頃から住民への周知を図っていま。	
			済・令和3年度は多段階の確率規模の 浸水想定区域図を作成 浸水想定区域図を作成 ・今後、避難計画検討一費する情報 の提供などで、市町村の策定作業を 支援している 信濃川・魚野川において浸水想定区 域図を作成・更新する	⊠ 短期														圏域内35河川について、想定最大 規模における浸水想定区域図の作 成及び公表を行う。	短期		3 0.	
	浸水想定区域図の 作成	8	計画規模・想定最大規模の洪水に対する浸水想定区域図を策定済み 今後、内外水一体となった浸水想度 区域図の作成を検討する	け・必要に 応じて更 を新・充実														・対象の内、22 32河川おいて浸水 想定区域図を公表済み (2020 2022 年1月時点)	引き続き実施	-		ı
																					新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。	
川の氾濫に着目したハザードマップ等を作 し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定	8											+							_	新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配 布。	
し、サスツ間報を向知			住民への氾濫リスクを周知するため の支援の検討	カ 【長期】 H28年度か									-					住民への氾濫リスクを周知するた めの支援の検討	順次実施		新たな浸水想定区域に対応した洪 水がボードマップへの改良と、出 前調座などを活用した周知・広報 を実施する。	_
				ら実施																	前講座などを活用した周知・広報を実施する。	
	住民への周知	8	・浸水想定区域図等のデータは提供 済・今後、避難計画検討に資する情報 の提供などで、市町村の策定作業を 支援していく					_										市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配 布。	5
			文接していく										-					土砂災害警戒区域等の周知・更新	順次実施			
	土砂災害警戒区域 等の周知・更新	_																				
																		主砂災害警戒区域等の周知·更新実施中	引き続き実施			
砂災害に関する避難情報の周知																		土砂災害警戒情報に関するシステ ムの整備	順次実施			
	土砂災害警戒情報 に関するシステム の整備	_																				
	3 E m																	土砂災害警戒情報に関するシステムの 更新作業中	実施			
																		【南魚沼地区】 農業用ため池の避難対策としての ハザードマップ作成を支援する。 【魚沼地区】 農業田ため池の氾濫の避難対策と	R3から実 施			
業用ため池の氾濫に着目したハザードマッ 等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策 定							_										農業用ため池の氾濫の避難対策としてのハザードマップ作成を支援する。 【南魚沼地区】 管内の防災重点ため池9箇所の策定済み。				
			・現状予測時間(~3時間) ・事に教時間(4~6時間程度) 年 #	【長期】 5. H28年度か														【魚沼地区】 管内の防災重点ため池に係るハ ザードマップの作成を支援する。	R12までに 実施			
期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位 測体制の検討	予測システムの精 度向上		・現状予測時間(~3時間) ・更に数時間(4~6時間程度)先も 含め水位予測精度の向上の検討・シ ステム改良 ・H28~29年度でシステム改良を完 ア B2年度 H30以降の出来におけ																			
			・H28~29年度でシステム改良を完 了。R2年度、H30以降の出水におけ る精度検証を行う予定。 ・H30年7月に連用を開始した共有フ ラットフォームにおいても情報提供 災害の危険度が伝わるきめ細やかる	ブサースに														災害の危険度が伝わるきめ細やか	順次実施			
-11 = 1 L2 0100k i vr			を実施 災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、早期避難に 向けた精度の高い水位予測の終計の 実施。ケーブルテレビ、SNS等を活 用した情報発信の強化を図る。	こ(K3年度か のら実施														災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、早期避難に向けた精度の高い水位予測の 検討の実施。ケーブルテレビ、SNS 等を活用した情報発信の強化を図 る。				
rーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信 D強化	災害情報等の発信	-	「地域防災コラボチャンネル」について実施に向け手続中	ン ・引き続 き実施	- 0						1							市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0		1

Я		いるものは青字、継続中のものは緑字、 <mark>未対応</mark> 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組		北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林塾儒事	務所	新潟地	5気象台		新潟県				整~新潟市)
項目	目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー 減災目制 速成のか めの取制	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期 対ジ	急治水 策プロ 実施内容 ェクト	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	緊急治水 時期 対策策プレ ジェクト
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、報道関係機 関と連携した情報発信の強化を図 る。	【長期】 H30年度か ら実施													災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	順次実施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	
		マスメディアとの連携強化	報道機関等への情 報提供及び連携 _	新潟県メディア連携協議会と連携 し、情報発信の強化を図っている。	・引き続き実施	0												市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	R1、R2に新聞やテレビ関係などの報道機 関と災害時の情報発信のあり方などについ て情報交換を実施。	引き続き 実施
				・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 (信濃川水系として信濃川下流と一元化し、共有・ト間ができるシステム 、共有ブラットフォーム化)の整	【長期】 引き続き 実施													雨が止んだ後に上流からの洪水が 到達した状況を踏まえ、災害を発 険度が伝わるきか細やかな情の発 僧の取組とが遅れて図 達する水系の情報発信の強化を図	順次実施		市民向け情報発信の発信を強化するため、情報伝達手段の更なる多 重化に取り組む。	
		住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやす いきめ細やかな情 報伝達	備・活用) ・信濃川河川事務所炉等で提供中 ・平成30年7月より運用を開始した 共有ブラットフォームにおいても情報提供を実施		0											4	る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	既存の情報伝達手段である市HPをはじめ として、にいがた防災メール、Twitter、防災 行政無線、ヤフー防災、FMラジオに加え、 LINEによる情報配信を進める。	引き続き 実施
				・水位計やライブカメラの情報をリ アルタイムで提供 (信濃川水系として信濃川下流と一 元化し、共有・関覧できるシステム (共有ブラットフォーム化)の整 機・平田)	【長期】 引き続き 実施													浸水により人家等への影響がある 地区への避難情報発令を支援する ため、水位計やカメラを設置す る。	H30年度から実施			
		水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信	水位計、監視カメ ラ等の設置	備・活用) ・信濃川河川事務所炉等で提供中 ・平成30年7月より運用を開始した 共有ブラットフォームにおいても情 報提供を実施	・H28年度	0												令和元年度東日本台風出水により 家屋浸水が生じた地区に危機管理 型水位計を設置した。	R元年度	0		
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、浸水想定区 域における、企業、危険物管理施設 への浸水リスクへの情報提供	【長期】 引き続き 実施													災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想 定区域における、企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	順次実施		新たな浸水想定区域に対応した洪 水ハザードマップへの改良と、出 前講座などを活用した周知・広報 を実施する。	
		浸水想定区域における、企業、危険物管理施 設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情 - 報の共有	・浸水想定区域図等を押にて公開済 み。和3年度は多段階の確率規模の 浸水想定区域図を作成 ・無市の企業を対象としてBCP策定 支援のできた・を実施 ・必要に応し、浸水リスク情報の提 候を実施	き実施	0											_	市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施	0	新たな洪水ハザードマップを作成、公表。	H30実施済 み
4.	グリーンイン ■グリーン・	<mark>ンフラに関連する取組</mark> インフラに関連する取組																				
			レキ河原再生、水 際環境の創出、瀬 潜の復元	多様な水際環境を形成するために、 掘削形状の検力形成を行い、図地・砂 項原等の環境の形成を図る。 角類をはじめとする多様な生物の生 りや湿地等の多様な河川環境を割り ・生事・ 河川環境調査の実施等により生物生		_												・信濃川上流域の緊急治水対策プ ロジェクトにおびを工夫し、無類の 事後の可保境に配慮した、瀬と湖の 復元を図る ・羽根川の整備にあたワンドを形成 様	【短期】 【中期】 【長期】			
			・湿地環境の創出	河川環境調査の実施等により生物生 息環境創出の可能性を模素した必要要 に応じて自然再生のための整備を実施 ・河道掘削等の実施において多様な 生物の生息環境、配慮した整備を実施する。														各圏域河川で実施する河道提削等 について多様な生物の生息環境へ の配慮した整備を実施	【短期】 【中期】 【長期】			
		治水対策における多自然川づくり	・ ・ ・ ・ は現境のによく性 ・ 生は によります。 ・ はなります。 はなりまする。 はなります。 はなります。 はなりまする。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなります。 はなりもなりをもなりをもなりをもなりをもなりをもなりをもなりをもなりをもなりをもな	ルチ る。 ・大河津分水路第二床固改築工事において魚道を整備等 緊急治水対策プロジェクトや大河津 分水路改修事業の実施において、対応を図っていく。								-						の配慮した登備を実施	【長期】	-		
				・小中学校などにおける河川環境学 習 ・河川協力団体による美化活動	【短期】 【中期】 【長期】					森林・林業教育の実施	【中期】							森林・林業教育の実施	【中期】			
		自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する 多様な機能活用の 一 取り組み	・地域の小中学校への河川環境学習 を実験的に支援 ・河川協力団体による美化活動を定 期的・超続的に実施、支援	引き続き実施	_						-					_			_		
		魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間 創出 —	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。	【短期】 【中期】 【長期】																	
		芝 刀のの水辺左向・旅 れいの間口	- 周田 一	長岡河川防災ステーション整備において、平時の賑わい割出等を狙った 利活用の可能性を検討																		
		生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐら や提餌場となる法 場や湿地環境の保 全・創出	大型島類の保全・活用に賃する河川 環境関連等の連携関係を養き、豊かな自然環境と落用した魅力的な活 力ある地域づくりの形成を推進 生態系ネットワークの形成のため 国・県・市町村、宇雄系、環境団体 等が参加する協議会を設置し議論	引き続き実施																	
		流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と 雨立した森林復 旧・再生 _							森林聖儒 (除間仗の実施・森林復 旧)	【中期】		森林整備 (除間性の実施・森林復 旧) 実施中	【中期】【長期】				森林整備(除間伎の実施・森林復 旧)	【長期】			
		流域における対策と合わせた自然再生等	・ 水田 の雨・水戸留 ・ 水田 で は で は で で で で で で で で で で で で で で で															水田 (田んぽダム) は雨水貯留機能とともに、良好な田園景観や生物の多様な生息・生育環境に寄与する。	【中期】			

資料 3-2 (北陸地整~新潟市)

																					(40,62,63	- 4717	\understand
「再	「度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会約 を目指す取組	経済被害の最小化」		北陸地整		北陸農政局			中越森林管理	署		新潟水源林整備和	事務所		新潟地方気象	台		新潟県			新潟市		
項目主な取組メ	生な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策・クト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策・クト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実能内容	時期	緊急治水 対策 ジェクト
	流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の割 出・魚道整備等		審選川下港水系の魚野川において、 が防設値に整備と合わせた動いの場 の創出・魚選等の整備を実施 魚野川において、引き続き類いの場 の創出・魚選等の整備を実施。																			

	いるものは青字、継続中のものは緑字、 <mark>未対応の</mark> 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経況 を目指す取組			長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			(長岡 市	下~魚	沼市)
				200		联合治士			数与沙士			取合治士			联合油士			取合治士			取鱼治士			联盘治士
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	選成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト															
1. 被害の軽減 ■被災施設	こ向けた治水対策の推進 (河川における対策) 等の迅速な復旧																							
	堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		-						1			_												
■河川水位	の低下及び洪水流下断面を向上させるための取	M																						
	遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	1									_			-			1						
									-															
	3	大河津分水路の改 修																						
		139																						
		河洋棚和																						
	洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	河道掘削 樹木伐採	1						1			1						1						
	=																							
		築堤	1																					
												-						1		=				
■施設規模	を上回る洪水に対する取組																							
		温味事法足の越																						
	危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補 強・天端舗装	2																					
■既存施設	を活用した洪水被害軽減対策																							
	堤防の強化 (浸透対策等) は	堤防の強化	1						-												-			
	ш.	既存ダムの事前放 流を伴う治水協力	29																					
	既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施設について、更なる洪水被害軽減の可能性に おいて検討を行うとともに、必要な対策を実 施																							
	10 H 10 H	既存の堰等の洪水 時における操作改 定				_			-						-			-			-			
		-																						
■河道·河	川管理施設等の適切な維持管理																							
	堤防や堰、水門等の適切な維持管理		_																					
	1000年 100万万分の 対のを17日本																							

凡例:完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。 (長岡市~魚沼市) 「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」 を目指す取組 長岡市 小千谷市 十日町市 燕市 魚沼市 減災目標 達成のた めの取組 緊急治水 対策プロ ジェクト 時期 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 野急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 緊急治水 対策プロ ジェクト 項目 主な取組メ 主な取組項目 対策メニュー 時期 河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理 地域が連携した浸水被害軽減対策の推進(流域における対策 ■支流の流出抑制の取組 貯留管及び貯留施設、雨水調整池 順次整備 を整備・管理 ・雨水貯留施設等の整備を実施 公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備 1年度に琴平公園貯留施設が整 引き続き 実施 ・雨水貯留施設等の整備を実施 【長期】 引き続き 実施 完了 引き続き雨水貯留施設等の整備 を検討 農地の多面的機能として位置づけ られている田圏に一時的に貯留す る機能を向上させるため、農家に 対し、交付を表積極的に清用して 田圏ダムに取り組むよう周知す ・田んぽダムの活用 (市内1,159へ クタールで実施) 【長期】 実施中 農地の多面的機能として位置づけ られている田圃に一時的に貯留す る機能を活用するための、現在整備 済の田圃ダムの道正管理を実施すると ともに、新規整備箇所を検討する。 農地には多面的機能があるなか、 一時的に貯留する機能を活用する ため、田圃ダムを検討する。 る。 効果測定等への指導・助言のた め、県内大学機関等との連携も検 引き続き 実施 田んぽダムの推進 現在整備済みの田圃ダムの適正管 理を引き続き実施 ・田んぽダムの活用 (市内1,159へ クタールで実施) 実施中 データ分析等検討を開始。引き続き き検討。 農地の多面的機能として位置づけ られている田圃に一時的に原常する機能を向上させるため、農家に 対し、交付金を積むに活用して 田圃ダムに取り組むよう周知す る。 効果測定等への指導・助言のた め、県内大学機関等との連携も検 雨水貯留施設、田んぽダム、透水性舗装の整 備等 計。 開発行為に該当する事業について は、開発区域における排水基準に まり、敷性の関本流出金等原定 し、周辺線水路や河川への能力を 動業した上、駐車場、グラウン ド、自由心配側溝等の貯留施設の 計画を行っている。 開発区域における様水基準により、敷地内の雨水流出後を第カを 以、敷地内の雨水流出後を第カを 影楽した上年で、駐車場、グラの智能と した上年で、駐車場、グラの智能と が重からあっている。 は1年57章 東・市立藩之谷小学校 (東京年) 東上海 浸透性舗装、側 溝、ますの設置 近年の実績: 越路白山保育園 (H 23年)、高等総合支援学校屋内 運動場 (H29年)、ながおか花 火館 (R2年) 個人・企業への雨水タンク設置補 助を実施中。出水を踏まえ、普及 PRを加速化させる。 個人・企業へ雨水貯留槽及び雨水 浸透ますの設置費を助成 各戸貯留施設の費 用補助 ・雨水貯留槽の設置費助成を実施 引き続き 実施 中 ・雨水浸透ますの設置費助成につ いて検討する ■支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組 河道掘削 H23年の新潟・福島豪雨で浸水被害 があった地区について、雨水栗の 流下能力増強を図る。 H4年度完 了予定 支川水路における氾濫抑制対策 雨水渠の流下能力 増強 17年度より、南水梁の流下能力増 強のためのパイパス管及び既存施 設の改築を実施中。R4年度に完了 予定。 ポンプ施設、ゲート施設を整備・ 実施済み 管理している。 ポンプ施設、ゲート施設を整備・ 引き続き 管理 事施 排水機場の整備、 増設 現在、寿町排水ポンプ場 (R5年度 完成予定) を整備中 R5年度 完成予定 四日町排水ポンプ場を整備中。 排水機場の整備 放流先の見直し 浸水常襲箇所における可搬式ポン 引き続き ブ、発電設備の新規購入 実施 排水ポンプ車等の 整備 ・可搬式ポンプ18台、発電機6第を 引き続き 購入 実施

購入 ・今後も可搬式ポンプの購入を検

信濃川水系(信濃川中流)流域治水プロジェクト取組施策一覧 (信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む) R例: 完了しているものは青芋、緑緑中のものは緑芋、木対応のものは赤芋で配載する。

	こいるものは青字、継続中のものは緑字、未対応																				(長岡市	ち~魚?	召市)
ſ	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」	長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目主な取組に	主な取組項目	対策メニュー 減災目 達成の めの取	票 	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	实施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
			接水機場の耐水化	引き続き実施		・今後の対応について検討(該当 施設の調査等)	【長期】 今後検討																
	排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化 ②	・令和3年度に下水道施設を対象と した耐水化計画を策定予定 ・令和4年度から耐水化工事を実施 予定	引き続き実施		・今後の対応について検討 (該当 施設の調査等)	【長期】 今後検討	_															
■大規模3	災害時における迅速な復旧支援の取組																						
			長岡地区にて防災拠点整備を検討	R1年度か ら実施																			
	緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	河川防災ステー ション等の整備	引き続き整備を検討	引き続き実施	0																		
		大規模水害時において大型車両等が 通行可能なアクセ ス網の整備						_						_									
■土砂災署	客に対する対策																						
	土砂・洪水氾濫への対策	土より は ない は な						_															
	流木や土砂の影響への対策	多数な大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな																					
■森林整個	#等における対策																						
	上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整備等																					
	保安林の適正な配備等	保安林の維持・管 理及び保全																					
3. 減災に向け	けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策 けの工夫に関する取り組み)							1									,					
		都市計画マスター ブランや立地適正	都市計画マスターブラン等に基づき、災害に強い町づくりを推進						都市計画マスターブラン等に基づき、災害に強い町づくりを推進 防災ラジオによる迅速な広報やハザード マップによる周知など引き続き家族			都市計画マスターブラン等に基づき、災害に強いまちづくりを推進。 ・引き続き推進						都市計画マスターブラン等に基づき、災害に強いまちづくりを推進。 ・引き続き推進	進	<u>1</u>	市計画マスターブラン等に基づ 、災害に強いまちづくりを推 。		
	導	化計画による水害 に強い地域へ誘導	持続可能でコンパクトなまちづく適けを目指し、109、17・長岡市立地適立公表している。 水書等の各小ザードに対する防災対策・安全確保策となる「防災対策・安全確保を進め、居住や都市機能の誘導区域における安全性を高める。	より検討						,	0	TICOLC TERE	引き続き推進	_				- 可で税で注応	引き続き推進	0	eet T	引き続き継続	0
	克雪型住まい(高床式)費用の助成活用の充 実	都市計画マスター ブランや立地適正 化計画による水害 に強い地域へ誘導							豪雪地域である小千谷市内において、高原式住居において没水被害 軽減に結びついた有用性について PRを実施 広報送やホームページによるPRを実施	引き続き実施	0												
	不動産関係団体への水害リスク情報と周知協	不動産関係者への	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水舎リスク情報の提供と周知協力の推進を 図る。	引き続き実施					住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を 図る。	【長期】		住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。	引き続き実施		て、不動産関係団体への水害リス ク情報の提供と周知協力の推進を 図る。	R1年6月		住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク 情報の提供と周知協力の推進を図 る。		l IS	まい方の工夫に関する取組とし 、不動産関係団体への水害リス 情報の提供と周知協力の推進を る。		
	予めた例ではは、 力の推進	水害リスク情報の 一 提供	必要に応じて冊子の提供や、ホームページでの情報提供の実施中	引き続き 実施	0				・ハザードマップによる情報提供を実施	引き続き 実施	0	・ハザードマップによるリスク情報の提供を実施。	引き続き実施	_	・RI年6月に全戸配布した洗水ハ ザードマップを市HPに公開し、不 動産関係者に対して水害リスクの 周知を図る。	継続	0	・ハザードマップの紹介と提供を実 施。	引き続き 実施	O //	ザードマップにより情報提供を foている。	引き続き 継続	0

信濃川水系(信濃川中流)流域治水プロジェクト取組施策一覧 (信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む) RM: 完了しているものは青年、継続中のものは緑本、未対応のものは赤牛で配載する。

主な取組項目																					
	対策メニュー 減災E 達成の めの可	標 た 実施内容 組	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期
歳の普及に関する取組		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承	引き続き		・防災教育や防災フェスタの開催 などを通じて地域防災力の向上を	【長期】引き続き		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承	【長期】					防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承	R1年10月			長期】		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承	実施済る
	パネル展、イベン ト、水害リスク情 🙉	等より、地域防災力の向上を図 る。	J		図る。	実施		等より、地域防災力の向上を図 る。						等より、地域防災力の向上を図 る。			り、地域防災力の向上を図る。実施	ŧ		等より、地域防災力の向上を図 る。	
憶の伝承	ト、水害リスク情 報の周知やSNS等 を活用した発信	・市内小中学校において防災教育 コンテンツ(教材)、 新工等を活用し、水害の体験談の 伝承等の防災教育を実施	引き続き実施	0	・市内小中学校において防災教育 を実施 ・防災フェスタの開催	【長期】 引き続き 実施	_	関係機関及び関係団体の協力によ り引き続き実施	引き続き実施	0				・R1年10月 国土地理院「自然災害伝承碑」に登録し、過去の水害の歴史を伝承する。	継続	0	・防災教育や防災出前講座等におい て、過去の全国の水害について紹介 し、水害の危険性等を啓発。	き続き	0	地域防災力向上シンポジウムを開 催。	令和元: 度
		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民や小・中 学校等へマイ・タイムライン普及 の推進等により、地域防災力の向 上を図る。	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブッ クを活用し、住民の水害や避難に 対する意識を高めていく。	【長期】 引き続き 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【長期】		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・タイムライン普及の推進等 により、地域防災力の向上を図 る。	R2年度から実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災カの向上を図る。	R2年7月		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン・普及の推進等により、地域防災カの向上を図る。	豆期】 年度か 実施		防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイム ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	【短期維続中
災マップ、マイ・タイムライン普及	マイ・防災マッ ブ、マイ・タイム ライン普及の支援	・長岡版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を(か学生版・中学生・大人版)作成・HPへ掲載するとともに、小中学校等での活用支援を実施	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブッ クを活用し、住民の水害や避難に 対する意識を高めていく。	【長期】 引き続き 実施	_	関係機関の協力により出前講座等 を実施	引き続き実施	0	「豪雨災害対応ガイドブック」に マイタイムラインを掲載した。 ・様式を全世帯に配布。 ・対象者を絞り、啓発を行う。	引き続き実施	-	・R2年7月「十日町市版マイタイム ライン」を策定し、全戸配布する とともに市IPに公開し、普及を図 る。	維続	0	・「マイ・タイムライン」や、水害 時の適切な対応の理解促進を図る 「防災チェックシート」の作成、全 戸配布。 ・市広報誌及びホームページへ特集 都事掲載。	き続き	0	必要に応じて出前講座等にてマイ タイムラインの普及啓発を行って いる。 地区防災マッブ等の作成支援を 行っている。	引き続継続
																	- 防災教育や防災出前講座、女性防 災リーダー養成講座等での説明、作 成支援実施中。				
		防災教育や防災知識の参う る取組をして、各地の教育を を が取組をして、各地の教域と は を は い ・ 中学校等と達 が り し し し し し 、 を り し し 、 を り 、 を り 、 を り 、 を り 、 を り 、 を り 、 を り 、 を り 。 り に り に り に り に り に り に り に り に り に	引き続き実施		・全小中学校・全学年で防災教育 授業を実施	【長期】 H25年度から実施		防災教育や防災 知識の普及音楽 る取組と等してと連携の教育域保 会・学校学を連携したした いい中学校等を対象、 一の上 で の上を で の上を で の と の と の と の を り で と は に の 数 域 は い た い と 、 ・ 学 を 対 域 は い が り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り の と り の と り 、 り 、 り の と り と の と の と の と の と の と の と の と の	【長期】		防災教育や防災 学校等を連携し る取組として、学校等を連携し、 地域住民や小・中学校等を対象と した防災教育の推進等により、地 域防災力の向上を図る。	引き続き実施		防災報音とは、 ・学校等とは、 ・学校等を対し、 ・学学校等を対し、 ・中進達等とは、 ・中進達等を対し、 ・中進達等を対し、 ・地域防災力の に変数力	R2年11月 実施予定		防災教育や防災知識の普及に関する【中	Þ期】 年度か 実施		会・学校等と連携し、地域住民や 小・中学校等を対象とした防災教 育の推進等により、地域防災力の	【短期維続中
や小中学生等を対象にした防災教育	出前講座による防 災教育の実施	じた、防災教育の授業等の相談、 企画、運営及び講師の派遣等を実施 ・「わが家の防災タイムライン」	引き続き実施	0	・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施	【長期】 引き続き 毎年実施	-	管内小・中学校において防災教育を実施	引き続き実施	0	・小中学校を対象に過去の水害の状況、対策等についての防災教育を実施している。	引き続き実施	_	・市内小中学校からの要望等もあ り、「防災教育」をテーマに社会 科学習を実施予定。	維続	0	(度14小学校) ・地域と学校が連携した防災訓練や	き続き	0	ホホル市学校からの東切に上り	引き続継続
		を小中学校の授業で活用 ・防災の専門知識を有するアドバ イザーを派遣し、自主防災活動を 支援 ・地域に住民向けに、防災講話等の 護施派法を実施	71 + 4*+			I E HO			/1= == \			31.2.4.2.2			20412		防災活動の支援を実施。				7 1-40
ける避難確保計画の作成と避難訓練	避難確保計画の策	る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	実施		情報提供を行い、避難計画策定を 促す。	新潟県からの情報 提供後から実施		る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。			と避難訓練の推進等により、地域 防災力の向上を図る。	実施		る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。			り、地域防災刀の向上を図る。			る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	継続中
	たと 妊 類訓練の美 (3) 施	学校における避難確保計画の作成 や避難訓練の実施を推進	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供 を行い、避難計劃策定を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えること としている。	【長期】 実施中		対象となる学校の避難確保計画を作成、避難訓練を実施	引き続き 実施		学校の避難確保計画は対象となる全小中学校で作成済み。避難訓練実施を推進。	引き続き実施		・浸水対象区域の学校施設はない が、過去の水害等を踏まえて、避 難訓練の実施をお願いする。	継続		・教育委員会との連携による、「防 災キャラパン」と称した防災教育 を、市内8小中学校で実施。(昨年 度14小学校)	き続き を	0	教育委員会と連携を図り、浸水想定区域内の小体領 原本体板に避難確保計 の小体領し線とでいても のである。避難訓練についても を を は している。	引き続継続
士セプトの紙」じつぃづの検挙 /湯	まるごとまちごと	まちなかに浸水リスクを表示する 「まるごとまちごとハザードマッ	引き続き実施		・避難所の見直し等に伴う変更を 実施	【長期】 引き続き 実施		まちなかに浸水リスクを表示する 「まるごとまちごとハザードマッ	【長期】					る取組として、地域住民と協働で まちなかに浸水リスクを表示する 「まるごとスケザーマップ」 オール・ファック	R2年6月		防災教育や防災知識の普及に関する 取組として、地域住民と協働でまちお なかに浸水リスクを表示する「まち ごとまちごとハザードマップの」推進 により、地域防災カ向上を図る。	豆期】 ねんど 6検討		まちなかに浸水リスクを表示する 「まるごとまちごとハザードマッ	【短期 継続中
)	カザードマップの 切支援	地域住民と協働でまちなかへの浸水リスク表示について検討中	引き続き実施		+ 避難所の見直し等に伴う変更を実施	【長期】 引き続き 実施	_	と ・	引き続き実施						継続	0	・H29年度完成のハザードマップを 参考に検討。 検討	き続き	0	となっています。 浸水表示を、浸水エリアの小中学 校に試行的に設置予定(R4)	引き続 検討
	新祖・肝左々イル	・信濃川等の各観測所ごとにタイ ムラインを策定し、必要に応じて 見直しを実施	引き続き実施		・水防法の改正に伴う浸水想定区 域の見直しや、平成27年9月の関 東・東北豪雨を踏まえて、ローキン グを開催して検証疑距の抽出と 見直しや新たな課題の抽出と	【長期】 引き続き 実施		タイムラインの作成及び更新。	【短期】		タイムラインの活用により、豪雨 対応力向上を図る。	引き続き実施		振興局として連携して、タイムラインを策定する。	R1年6月		関係機関と協議検証し、タイムライ ンの見直しを行うことにより、災害 対応力向上を図る。 実施	長期】 き続き も		タイムラインについて、より実効 性の高いものとなるよう関係機関 と協議を行い、更新を図る。	【短期 継続中
応したタイムラインの普及促進	ラインの作成及び ① 更新	・信濃川、魚野川、刈谷田川、黒 川を作成 ・必要に応じて見直しを検討	引き続き実施	0	にいる。 ・避難に対する考え方や避難情報の出し方など、対応全体の在り方を改めて検討する。	【長期】 H30年度実 施済、引 き続き検 討	-	危険箇所におけるタイムラインの作成及び 更新を引き続き実施	引き続き実施	0	・関係機関と連携した防災行動計画(タイム ライン)を整備した。今後運用しながら適宜 見直しを図る。	引き続き実施	_	・R3年7月振興局と協議し、タイム ラインを変更。 ・更新については、適宜、検証し 検討する。	維続	0	・必要に応じ、関係機関と協議検証 り見直しを図る。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	き続き	0	必要に応じ、関係機関と協議検証 し見直しを図る。	引き続 継続
権に関する取組の推進		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災 カ向トを図る。	引き続き実施					取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災	【短期】		取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災	引き続き実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災 カートを図る。	R2年11月 予定		要配慮者利用施設の避難に関する取 【短報として、地域防災計画への位置付 H29: けの推進等により、地域防災力向上 ら要図る。	豆期】 年度か 実施		取組として、地域防災計画への位 置付けの推進等により、地域防災	令和元度
計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	浸水想定区域や土砂災害警戒区域	引き続き実施	0			_	浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在	引き続き実施	0	過水根空区储心+砂災需要並区域に能在	実施	-	対象なし		0	・地域防災計画修正の際に、見直し を実施。	き続き	0		令和元度
		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な 情報提供を行い、避難計画策定を 促す。	提供後か		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	【短期】		要配慮者利用施設の避難に関する 取組をして、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	引き続き実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	H28年度か ら検討		要配慮者利用施設の避難に関する取 組として、避難計画の作成と訓練の 推進等により、地域防災力の向上を らま 図る。	豆期】 年度か 実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成と訓 線の推進等により、地域防災力の 向上を図る。	【短期維続中
計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	要配慮者利用施設における避難計画策定と訓練の推進を行う	引き続き実施	0	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供 を行い、避難計画策定を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えること としている。		-	要配慮者利用施設に対し避難計画策定を 依頼し、訓練を実施	引き続き実施	0	-要配慮者施設における避難計画策定の 推進を行う。 対象施設の計画策定について依頼 ・確認を実施。	引き続き実施	_	対象なし		0	・福祉部局と連携し、避難計画策定 と訓練実施の推進を図る。 実施	き続き	0	福祉部局等と連携し、要配慮者利 用施設に対し、避難計画の作成と 訓練の推進等を行っている。	引き続継続
		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	引き続き実施					要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	【短期】					要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	R2年4月		要配慮者利用施設の避難に関する取 [新組として、避難計画の作成につなが H29: る講習会の開催等により、地域防災 力の向上を図る。	豆期】 年度か 実施		要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	【短期継続中
計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	防災対策等の説明会を実施し、地 感染防災力のため日本を図る。要配度者 が成功のため日本のでは、 原本のでするに対して資料差 が表現した。	引き続き実施	0				来作成の要配慮者利用施設への説明を引き続き実施	引き続き実施	0				対象なし		0	・福祉部局と連携し、講習会開催を 検討する。 実施	き続き	0	関係する施設等に対し、説明会を 開催し実効性のある避難確保計画 の作成を促している。	引き続: 継続
わるきめ細やかな情報発信の取組		C11 -/1=0																			
河川の拡充、洪水浸水想定区域図の 進等による浸水リスク情報の周知	水位周知河川の設 定 ⑨																				
() 原 贈 書	か小中学生等を対象にした防災教育 する避難確保計画の作成と避難訓練 まちごとハザードマップの推進(浸 なしたタイムラインの普及促進 に関する取組の推進 十画への位置付けの推進 十画の作成と訓練の推進 十画の作成と訓練の推進 ・ こきめ細やかな情報発信の取組 可川の拡充、洗水浸水気変区域図の	プイ・タイム プイ・タイム プイ・タイム プイ・タイム プイ・タイム プイ・タイム プリー・ マー・ マー・	文マイ・カイムライン 書及 マイ・カイムライン 書及 マイ・カース ラマイ の	で、マイ・タイムラインを入って、タイムラインを入って、タイムラインを対して、大きの高マイ・タイムラインを対して、大きの高では、アイ・タイムラインを対して、大きの高では、アイ・タイムラインを対して、大きの高では、アイ・タイムラインを対して、大きの高では、アイ・タイムラインを対して、大きの高では、アイ・タイムラインを対して、大きの音を対して、大きの音を対して、大きの音を対し、アイ・タイムラインを対して、大きの音を対し、アイ・タイムの音を対して、大きの音を対し、アイ・タイムの音を対し、アイ・タイムの音を対し、アイ・タイムの音を対し、アイ・タイムの音を対し、アイ・タイムの音を対し、アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	マイ・カインライン で	### 1	(できまった。 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### 1	マイ・タイムラインを含って、		### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	マップ・マイ・ライムライン音音 7 (1977) 1 (2 からかっています。	マック・マイ・タイムフィンは 2 で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	************************************	1	1	The content of the	The content of the	The content of the	The content of the

「再月	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会! を目指す取組	応のものは赤字で記! 経済被害の最小化」		長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			(長岡) _{魚沼市}	.1. 70	
な取組メ ニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成の対めの取象	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治対策の
		浸水想定区域図の 作成	8																					
		ハザードマップ策 定	8	会風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 ・想定機大規模隣南に対応した避 難場所を依定した、新たなハザー ドマップを作成。			・新たなハザードマップの策定・ 周知 ハザードマップボータルサイト の周知と活用を促進 ・新たなハザードマップの策定・周知 ハケチードマップボータルサイトの周知と活 用を促進	提供後か ら実施		台座19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 引き続き実施	【短期】 引き続き 実施	0			-	台風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 機計 ・RI年6月 洪水ハザードマップを 全戸配布する。		0	台風19号を踏まえた避難所等の見直 し等、新たなハザードマップの検討 ・台風19号等過去の教訓を踏まえ 開設する避難所や避難所の連宮体制	引き続き		台風19号を設まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップを 作成 台風19号等の過去の浸水実績を図 示したハザードマップを作成。 元したハザードマップを作成。		
	水位周知河川の鉱充、洪水浸水想定区域図の 作成促進等による浸水リスク情報の周知			トマッフを下板。 ・要配慮者版(視覚障害者、外国人) 洪水ハザードマップを作成し、希望者等へ配布 最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。			・三条市豪雨災害対応ガイドブッ クを活用し、住民の水害や避難に 対する意識を高めていく			・最大級の災害を視野に入れ、市 民の連携行動につながる情報提供 のあり方を検討し対策を講じる。 ・市が管理委託されている支流河 の種門の操作状況も情報提供	【短期】		最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。	引き続き実施		全戸心市する。 一部の前する。 一部、最のサードマップが変に 台わせて改定を予定しているため、引き続き、検討していく。 デジタル防災無機の整備が予定で全世帯に戸別交信 機を配備予定、 神後は、整備がメール、防災ラジ オ、戸別受価機などを扱い、市民 の定義行動とながら情報を供き	H30年度		の見直し等により、対応力向上を 図図っている。 最大級の災害を視野に入れ、市民の 最上級の災害を視野に入れ、市民の 最上数の災害を視野に入れ、市民の が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	【中期】 H29年度から実施		を図っている。 最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり力を検討し対策を講じる。		-
		住民への周知	8	・R2年度に新たな淡水ハザードマップを作成し、全戸配布・コミュニティセンターに大利のマップを扱う機を使りないTubeに投稿・地区説明会を開文実施中	引き続き実施	0	・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用 し、住民の水害や避難に対する意識を高め ていく	【長期】 引き続き 実施	_	川の確同の硬作状況も情報提供し、市民の避難行動を促す。ハザードマップを全戸配布	引き続き実施	0	・ハザードマップを全戸配布 ・町内からの要型に基づいて防災講習会等 を開催 ・小中学校からの防災教育を推進	引き続き実施	_	オ、戸州交易機などを接い、市民 を設定しています。 ・配3年9月デジタル防災行政無縁の を書表び戸別受信機の全戸配布が 元こ		0	・平時から、ハザードマップやマ イ・タイムライン等を用い、避難行 動や情報収集手段等について普及啓 発を実施。	引き続き実施	0	浸水想定公表に合わせて、ハザードマップに反映し、全戸配布により周知を図っている。	引き続き継続	_
		浸水想定区域図の 作成	8																					
	支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作	ハザードマップ策定	8	災害の危険度が伝わるきめ緩やかな情報発信の取扱として、支ブラの作業を使用したパゲードで、支ブブ等の作成・見重しを図り、地域で発布へのリス 何報違知を図る・・起定最大規模専用に対応した避難場所を設定した、新たなパザードマップを作成			・新たなハザードマップの策定・ 周知 ・ハザードマップボータルサイト の周知と活用を促進 ・新たなハザードマップの策定・周知 ハガードマップボータルサイトの周知と活 用を促進	【長期】 新品の情報 提集を と 長期】 H31年度か	1	災害の危険性が伝わるきめ屋やかな情報発信の取組として、支川の 犯濫に着目したパチドマップ等 の作成・見起しを図り、地域住民等へのリスク情報差知を図る。 関係機関との連携により引き続き実施	【中期】 引き続き 実施	- 0			_	災害の危険度が任わるきめ細やかな有機を強の取組として、支リブランスを、		0	災害の危険度が伝わるきと対極やかな 情報発信の取組とトでつきまずの本への 情報発信したハゲリンプ・ は、アンプ・ に、アンで、 アンプ・ に、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、アン、			災害の危険度が伝わるき、ショップを 実際を信仰を表情の取組として、ショップを は限発信の取組として、マップと ので作成・見にたいを図りを図りを図り、 等へのリスク情報周知について 中小河川のリスク情報周知について 続き検討を行う。		
	ヌ川の北海に着日 レビハザートマップ 寺を1成し、リスク情報を周知	-		ドマップを作成・安配権で、 後野障害者、外国人、 決水パザードマップを作成し、希望者等・配布 最大級の安害を提野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。			用を促進 ・ 三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく			・最大級の災害を視野に入れ、市 民の利力を指する。 ・市が管理委託されている支流の 「同様円の様円の様円で収支も構建快	【中期】					デジタル防災無線の整備が令和3年 3月に完了予定で、全世帯に戸別受 情機を配備予算と、 今後は、急勢メメール、防災ラジ オ、戸別受信機などを使い、市民 の連載行動につながる情報提供を			最大級の災害を視野に入れ、市民の 避難行動につながる情報提供のあり 方を検討し対策を講じる。			続き検討を行う。 最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。		
		住民への周知	8	・R2年度に新たな洪水ハザードマップを作成し、全戸配布 ・コミュニティセンターに大利のマップを掲示でいては、 ・解技師語でいばからに投稿 ・地区説明金を順次実施中	引き続き実施	0	- 三条市塞南災害対応ガイドブックを活用 し、住民の水害や避難に対する意識を高め ていく	【長期】 引き続き 実施	-	し、市民の避難行動を促す。 ハザードマップを全戸配布	引き続き実施	. 0				の避難行動につながる情報提供を 実施。 ・ 83年9月デジタル防災行政無緒の 整備及び戸別受信機の全戸配布が 完了。	R3年9月完 了	0	・平時から、ハザードマップやマ イ・タイムライン等を用い、避難行 動や情報収集手段等について普及啓 発を実施。	引き続き実施	0	浸水想定区域の公表に合わせ、ハ ザードマップ等を作成し、リスク 情報の周知を図る。	引き続き 継続	
		土砂災害警戒区域 等の周知・更新	_			_			_															
	土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒情報 に関するシステム の整備	_																		_			
				決議時に人変等への被害が想定される防災重点ため港(市内45箇所)について関係住民へのリスク 周知のため、ハザードマップを作	令和3年度 中に完成																			
	農業用ため池の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ッ ハザードマップ策 定		関連のにの、ハリードマップをTF 成 R3年度に完成	令和3年度 に完成				_			-			_						_		_	
	早期避難に向けた構度の高い降雨予測、水位 予測体制の検討	立 予測システムの精度向上	9																					
	ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信 の強化	災害情報等の発信	_				・メール配信サービス(登録制) やツイッターなどを活用した情報 発信を実施		_															
							・メール配信サービス(登録制)やツイッターなどを活用した情報発信を実施	引き続き実施																

	いるものは青字、継続中のものは緑字、未対成 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会制 を目指す取組		KFO.	長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市		燕市			(長岡) ^{魚沼市}	巾~鴻	治中)
重日 主な取組メ ニュー			減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	繁対ジェ	急治水 策プロ 実施内容	時期	緊急治療が	水口実施内容ト	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	緊急治 対策プ ジェク	k 実施内容	時期	緊急治水 対策プレ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プレ ジェクト
				災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	引き続き実施					災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	【長期】		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	引き続き実施		災害の危険度が伝わるきが細やか な情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	125年度	災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、報道関係を 関と連携した情報発信の強化を図 る。	【中期】 引き続き 実施		災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	【短期】維続中	
	マスメディアとの連携強化	報道機関等への情 報提供及び連携	-	災害対策本部会議のライブ中継を 地元ケーブルテレビ局が実施	引き続き実施					新潟県総合防災情報システムの活用等、 引き続き実施	引き続き実施	0	・新潟県総合防災情報システムの活用等による情報提供を実施。	: 引き続き 実施	-	・災害対策本部設置などの情報を 「Lアラートシステム」を活用し、 情報発信しながら引き続き、連携 を図っていく。	継続	新潟県総合防災情報システム等き活用し、迅速かつ的確な情報提供を実施。	引き続き実施	- 0	新潟県総合防災情報システムの活用やコミュニティFUM局と連携による、迅速かつ的確な情報提供を実施。	引き続き継続	- 0
				市民向け情報発信の発信を強化するため、ホームページのアクセス 集中対策、情報伝達手段の更なる 多重化に取り組む。	引き続き実施		・防災行政無線のほか、様々な伝 連手段を用いて住民に情報を伝達 していく。	引き続き実施					家屋街場等氾濫想定区域等の危険 度の高い地域における「遅難イン フルエンサー」の取り組み推進	引き続き実施				住民に対して増水した河川等危険が 場所に近づかないなど、国や周辺日 治体、報道機関等との協力体制を砂 化し、連携と情報発信に取り組む ことで被害防止を図る。	【中期】 引き続き 実施		市民向け情報発信の発信を強化するため、ホームページのアクセス 条中対策、情報伝達手段の更なる 多重化に取り組む。	引き続き実施	
	住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやすいきめ細やかな情 報伝達	(§)	・ホームページをサーバ負荷軽減 ・ホームページをサーバ負荷軽減 ・ヤフーとの協定によりキャッ シュサイトを構築 ・SNSによる情報報発信の分散 ・携帯電話配 ・携帯電話配 部間に積むによります。	引き続き実施	0	以下の手段で住民に情報を伝達していく。 ・固定電話への避難情報配信サービス ・戸別受信機 ・緊急告知FMラジオ ・メール配信サービス ・SNS など	引き続き実施	<u> </u>	-			・住民の避難の決断を促すため、危険度の 高い地域で、災害時に避難を呼びかける 「避難インフルエンサー」を養成。	引き続き実施	-			・防災行政無線やメール等、様々な 手段を用い、迅速かつ的確な情報多 信を実施。		_	・ヤフーとの協定によりキャッシュサイトを構築 ・SNSによる情報発信の分散	引き続き実施	
				話に情報配信			・危機管理型水位計の設置	H30年度完 了予定	完														
	水位計、空間監視カメラ等の整備によるリア ルタイム情報の発信	が位計、監視カメ う等の設置	(5)				・危機管理型水位計の設置	H30年度完 了	完	-													
				災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想 定区域における、企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	引き続き実施					災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、浸水想 定区域における、企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	【長期】					災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	R1年6月	災害の危険度が伝わるきめ細やかな 情報発信の取組として、浸水想定 域における、企業、危険物管理施設 への浸水リスクへの情報提供	【中期】 H29年度か ら実施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	【短期】維続中	П
	浸水憩室区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情報の共有	-	危険物管理施設への立入検査の機 会を捉えて、危険物流出防止対策 を促している。	引き続き実施	0				防災ラジオや情報メールによる避難動告等 の周知のほかに、対象企業への水位情報 等の情報提供	引き続き実施	0				R1年6月に洪水ハザードマップを全 戸配布するとともに、市HPにも データを公開し、浸水リスクの周 知を図っていく。	継続	・関係各課と連携し、情報提供を実施。	引き続き実施	0	ハザードマップの浸水想定区域等 についての情報提供を行ってい る。	引き続き継続	0
- グリーンイ ■グリーン	ンフラに関連する取組 ・インフラに関連する取組																						
	自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水 際環境の創出、瀬 瀬の復元	-																	_			
	治水対策における多自然川づくり	・選地環境の創出る性 ・選点意環境の主集を ・主息原標を手続います。 ・週間では ・選集を ・選集を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-																				
																地域のニーズを踏まえた賑わいの ある水辺空間創出への連携・支 援。	【短期】 【中期】 【長期】						
	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する ・ 多様な機能活用の 取り組み	-													狙った利活用の可能性を検討 十日町市水防公園、高水敷公園に おいて雑草・雑木等の除去 経営	引き続き実施						
	魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間 割出	-	「建湖地区かわまちづくり」において川美幹部の堤防強化金土(緩 はな川美幹部の堤防強化金土(緩 積料盛土)と水辺空間を置もが利 用しやすいものとするための公園 整備を一体整備する。	整備済整備済											的な維持者事を行い、平時の賑わ いやイベントを発しての活用を 目指した整備を継続							
	生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐら や採餌場となる浅場や湿地環境の保 全・創出	-			_														_			
	流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と 両立した森林復 旧・再生	-																				
	流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留と 機能確保・自体を 合わ風景、で 環境の形 成	-																				

(長岡市~魚沼市)

「再	隻災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」	長岡市		三条市	i	小千谷市		見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー 減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期 緊急策ジェ	実施内容	時期 緊急策プジェク	水 ロ 実施内容 ト	時期 緊急治プログェク	実施内容	時期 対	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策・クト
	流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて脱いの場の割 ― 出・魚通整備等									-									

	るものは青字、継続中のものは緑字、未対応 災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組			南魚沼市			津南町				易沢町		弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	濃川発電	Fit	東北電力(株)長岡発電			アブルパワー(株)信え		
	を目指す収組					87 A 16 A			W 40 16			EF 45 16 .1.			87 A 16 J									
■ ×	主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治療 対策プロジェク	実施内容	時其	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	胡
対に	向けた治水対策の推進 (河川における対策) Fの迅速な復旧																							
Ī																								
į	堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		-			-			4		_	_						-			-			
位σ.	0低下及び洪水流下断面を向上させるための取	1組																						
	遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	1																					
ŀ																								i
		大河津分水路の3 修	ž																					
		河道振削																						
1	共水が円滑に流れやすい河道整備の推進	河道掘削 樹木伐採	1)						1			-									1			i
																								İ
		築堤	1																					
		~~							1									1			1			i
模を	·上回る洪水に対する取組																							
																								I
1	危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補 強・天端舗装	2			-			+			_						1			-			ł
맞 충	活用した洪水被害軽減対策																							
ſ																								Ī
į	堤防の強化(浸透対策等)	堤防の強化	1																					
ŀ																・国土交通省等と治水協定を締結 し、ダム情報について情報共有を 行う。 ・治水協定取組み実施(事前放流 の実施)	【長期】 令和2年5 月協定維	1	国土交通省等との治水協定を締 結。	【長期】 令和2年5 月協定總		〇既存ダムの洪水調節機能の強化 に向けた取り組み ・治水協定取組み実施(事前放流 の実施)	2020. 5	
																・治水協定取組み実施(事前放流 の実施)	結			結		の実施)		
		既存ダムの事前が 流を伴う治水協力	29													・令和3年の出水にて事前放流を実施	引き続き		黒又ダムおよび薮神ダムについて 協定に基づいた事前放流を行う。	引き続き	_	・西大滝ダム、渋沢ダム、穴藤ダ	引き続	įė
) Tie	実施		脳定に基づいた事前放流を行う。	実施		・西大滝ダム、渋沢ダム、穴藤ダム、カッサ川ダムについて上記取り組みに同意。施策を継続する。	実施	
1	既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施 投について、更なる洪水被害軽減の可能性に 着いて検討を行うとともに、必要な対策を実 施																							
		既存の堰等の洪水 時における操作さ	C Z																					
		~																						
	管理施設等の適切な維持管理																							
1	堤防や堰、水門等の適切な維持管理		-																					
1																								

/士兵:刀士。	・本字書もリー-	구 국 내 사이	- (姓) 信濃川東衆所)

	いるものは青字、継続中のものは緑字、 <mark>未対応</mark> 度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組		40.7 %	南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	20 III 00 455.2	_	東北電力(株)長岡発電打			アフルバワー(株)信:		
	を目指す取組			円 黒 沿 巾		T	洋闸町		T	海沢町			99.85.11		I	来口本旅各飲退(休)福	高川充電	ज ।	来北电刀(株) 长间充电灯	文物センター		果尽電ガリーユーアフルバソー	- (休) 福巌川	争来所
項目 主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト
	河道内の堆積土砂の搬去、樹木の植生管理		-																					
2. 地域が連携 ■支流の流	した浸水被害軽減対策の推進(流域における対 低出抑制の取組	策)																						
		公園、校庭等の雨 水貯留施設の整備	-																					
													農地の多面的機能として位置づけ られている田んぼに、一時的に貯 留する機能を活用するため、田ん ぼダムの呼びかけを検討する。	【中期】										
		田んぽダムの推進	_																					
	雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整備等												有効な協力の呼びかけ方法、周知 も含め実施を検討する	付き続き検討										
		浸透性舗装、側溝、ますの設置	-																					
		各戸貯留施設の費 用補助	_																					
■支川氾濫	加制、内水被害を軽減する取組																							
		河道掘削	1																					
	支川水路における氾濫抑制対策	雨水渠の流下能力 増強																						
		排水機場の整備、 増設	39												-									
	排水機場の整備																							
		放流先の見直し	39																					
		排水ポンプ車等の 整備	39																					

(南魚沼市〜東京電カリニューアブルパワー(株)信濃川事業所	f)
-------------------------------	----

7007.7		いるものは言子、経統中のものは称子、不対心 序の実性は、経滅に「治ば無ちばロ」「社会経																				ノルハラー(休)信		
	190	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	対板音の取りに	南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信	農川発電所		東北電力(株)長岡発電技	術センター	-	東京電カリニューアブルパワ・	- (株) 信濃川等	業所
項目主力	な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー 減災目標 達成のた めの取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策ブロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト
		排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化 ②																					
	大規模災:	害時における迅速な復旧支援の取組																						
			河川防災ステー ション等の整備 ®									_			-			_						
			大規様水害時にお いて大型車両等が 通行可能なアクセ ス網の整備			_			_									-						
==	L砂災害	に対する対策																						
		土砂・洪水氾濫への対策	土砂・減水に湿に よりが被いる危険 性が不しまで を を を を を を を を を を を を を を を を を を を															_			_			
		流木や土砂の影響への対策	多数的な大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな												_			_			_			
= \$	味林整備	等における対策																						
		上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整 備等															_						
			保安林の維持・管 理及び保全 _												_			_			_			
3. 減災	とに向けた	た更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策 の工夫に関する取り組み)																					
			都市計画マスター ブランヤ立地適正 レ計画による水舎 に強い地域へ誘導						_			_			_			_						
		克雪型住まい (高床式) 費用の助成活用の充 実																_						
		不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者への	住主い方の工夫に関する取組として、不動度関係回体への水舎リス って、不動度関係回体への水舎リス ク情報の提供と周知協力の推進を 図る。 水舎リスクに対してハザードマッ ブの情報提供を行っている		l li	【短網) 注まい方の工夫に関する取組とし で、不動産関係団体への水害リス 介積極の提供と周知協力の推進を 図る。 引き続き実施	引き続き 実施	- 0	住事い方の工夫に関する取組として、不動を開係には、不力を開係回体への水帯リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 マップの提供やホームページでの情報提供を実施	引き続き実施		住主い方の工夫に関する取組とし て、不動意間係団体への水きリス ク情報の提供と周知協力の推進を 図る。 引き続き実施	【短期】 引き続き 実施	- 0									

信濃川水系(信濃川中流)流域治水プロジェクト取組施策一覧 (信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む) R例: 完了しているものは青年、組織中のものは料平、未対応のものは寿平で記載する。 「再度災害防止・軽減」「減近遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」

(南魚沼市~東京電	■カリニ	-ュー:	アブルパワー(株)信	農川事業	集所)
東北電力(株)長岡発電技	術センター		東京電力リニューアブルパワー	- (株) 信濃川	事業所

「再」	度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会# を目指す取組	経済被害の最小化」		南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信濃川务	発電所	3	東北電力(株)長岡発電技	術センター	-	東京電カリニューアブルパワ-	- (株) 信濃	· 川事業所
な取組メニュー		対策メニュー	滅災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治プジェク	水 口 片 実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容 時	期対ジ	B治水 東プロ ェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急が対策を対策を
防災教育	 背や防災知識の普及に関する取組 			防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承 等より、地域防災力の向上を図	【短期】維続中		【短期】 防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、水害の記憶の伝承						防災教育や防災知識の普及に関す る取組に合わせて過去の弥彦村の 水害を紹介し、地域防災力の向上	【短期】										İ
	水害の記憶の伝承	パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	3	る。 広報誌等に過去の災害の記事を掲 載し、水害リスク等の情報提供を 行っている。 防災座談会、防災教育等で過去の 水害水害の説明を実施している。	引き続き実施	0	等より、地域防災力の向上を図る。 県より協力いただき、 津南中学校 でマイタイムライン作成支援授業 の実施。	引き続き実施	0			_	を図る。 広報誌等に過去の災害の記事を掲載し、水害リスク等の情報提供を行っている。 防災講話、防災教育等で過去の水 者の説明を実施している。	引き続き実施	0									
			l .	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働で マイ・防災マップ、マイ・タイン ライン普及の推進等により、地域 防災力の向上を図る。			【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組 たいで、地域住民と協働でムマップを書き、 マイイ・タンの推進等は、マイ・リップを表す。 防災力の向上を図る。 派よりなかたたさ。津南中学校						・マイ・タイムライン策定済み ・H29.10 要配慮者利用施設に、 バザードマップの配布(1~10部) を実施。	【短期】										
	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及 の推進	マイ・防災マッ ブ、マイ・ ライン普及の支援	120	住民の防災教育で地域の必要に応 にハザードマップを使ったマイタ イムラインの紹介・支援の作成協 力の広報を行っている。	対で続さ	0	ポンサージンは大き、本向甲子校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	0				関係機関と連携した防災行動計画 (タイムライン)の整備 (タイムライン)の整備 災害の激基化を踏まえて、最初 を行っている。 令和元を省監19号接近時所内役のレイン がある場合とのである。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 が	対で載さ	0									
				防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会。学校等と連携し、地域住民や 小・中学校等を対象とした防災教 育の推進等により、地域防災力の 向上を図る。 出前調隆等を行い、地域住民や小 学校を対象とした防災教育を推進			【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する 会・字校等と連携し、地域所等会員や 小・中学校等と連携し、地域所質とした防災外 何の推進等により、地域防災力 原本企業を対象とした防災教 可を推進等により、地域所災力	引き続き		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、教育委員会・学校 等と連携し、地社民や小・中学 校等を対象とした防災教育の権害 等により、地域防災力の向上を図 る。 小・中学校等と引き続き実施	引き続き		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等と対象とした防災カの向上を図る。・地域住民への防災教育(18/38/5、9/25、9/27、10/23、	【短期】 引き続き 実施										
	地域住民や小中学生等を対象にした防災教育 の推進	間出前講座による防 災教育の実施	3	学校を対象とした防災教育を推進 等し、地域防災力の向上を図って いる。	天施	0	でマイタイムライン作成支援授業の実施。	天能	0		実施	_	R3. 8/5、9/25、10/23、 11/16、R4. 1/30 - 弥彦小学校への防災教育 R1. 9/19, R2. 9/28, 10/1, R3. 1/22, 9/ 15, R4. 1/15		0									
	学校における避難確保計画の作成と避難訓練 の推進	# 避難確保計画の策	_	防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。	【短期】 継続中		【短期】 防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 ま						防災教育や防災知識の普及に関す る取組として、学校における避難 確保計画の作成と避難訓練の推進 等により、地域防災力の向上を図 る。											ı
	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	* 定と避難訓練の実施	3	教育委員会を通じて学校における 避難確保計画の作成と避難訓練の 推進等により、地域防災力の向上 を図っている。			浸水想定区域内要配慮者施設の洪 水避難訓練への参加、協力	引き続き実施	0				教育委員会を通じて学校における 避難確保計画の作成と避難訓練の 推進等により、地域防災力の向上 を図っている。											
	まるごとまちごとハザードマップの推進 (浸水深表示)	まるごとまちごと ハガードマップの	30	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、 地域防災力向上を図る。			【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と復帰でる取組として、地域住民と表示するなかに浸水リスクを表に受って、主を推進にとまって、地域防災力に、地域防災力に、地域防災力に、自己を終き検討	리本体本					防災教育や防災知識の普及に関する取組として、「ま」をまちごとハザードマッとを 推進により、 地域防災力向上を図る。											
		又拔		浸水リスクを表示する「するごとまたごとハザードマッフ」等の手 はについてについて、ハザー終 マップでの効果も含め引き続き 対する。 最新の魚野川のタイムラインを防			fac Hal	引き続き検討		関係機関と連携しタイムラインの 作成及び更新を実施する。			浸水リスクを表示する「よるごとまちごとハザードマッパードの音 及容量について、引き続き検討する。 関係機関と連携しタイムラインの 更新及び住民への普及を実施す											
	豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイム ラインの作成及び 更新	0	最新の魚野川のタイムラインを防 災塵談会などで活用し普及につな げる。 最新の魚野川のタイムラインを防 災塵談会などで活用し普及を図っ		0	県一田の地域振興局と作成した前線性出水を対象とした信濃川沿川のタイムラインを活用する。 引き続き実施	引き続き実施	- 0	タイムラインの作成及び更新を引き続き実	引き続き実施	-	更新及び住民への普及を実施する。 経年変化等を反映してタイムラインを適時 更新するとされ、住民への普及を防災講 話等を選して実施する。		- 0						_			
				ている。				,,,,,					話等を通じて実施する。											
配慮者	新施設の避難に関する取組の推進			要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災計画トロルを限る。	【短期】 継続中		【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、地域防災計画への位						要配慮者利用施設の避難に関する取組と して、地域防災計画への位置付けの推進 等により、地域防災力向上を図る。	【短期】										i
	地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	190	置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。 地域防災計画の見直しに伴い、要 配慮者利用施設の位置づけを更新 し地域防災力の向上を図ってい る。		0	取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災 力向上を図る。 RI年地域防災計画改定時に要配慮 者利用施設を位置付け		0				等により、地域防災刀両上を図る。 地域防災計画の見直しに伴い、要 配慮者利用能の位置づけを更新 に地域防災力の向上を図ってい	引き続き			-				_			
				る。 要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画場作成と訓練の推進等により、地域防災力の 向上を図る。			【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、整難計画の作成と訓 練の推進等により、地域防災力の						る。 要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成之訓 後の推進等なり、地域防災力の 向上を図る。	【短期】										
	避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	190	福祉部局と連携し、要配慮者利用 施設の避難に関する取組として、 避難計画の作成と訓練の推進等を 行っている。	引き続き実施		向上を図る。 湯水想定区域内要配慮者施設の港	引き続き実施	0				福祉課と連携し、要配慮者利用施 設の避難に関する取組として、避 難計画の作成と訓練の推進等を 行っている。	中に元成	0									
				要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	【短期】維続中		【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。						要配慮者利用施設の避難に関する 取組として、避難計画の作成につ ながる講習会の開催等により、地 域防災力の向上を図る。	予定) 【短期】										
	避難確保計画の作成につながる講習会の開催	護 講習会の実施	(10)	福祉部局と連携し、必要に応じ避 難計画の作成に講習等の協力を行 う。	引き続き実施	0	浸水想定区域内要配慮者施設職員 の水防災学習研修への参加、協力	引き続き実施	0				福祉課と連携し、必要に応じ避難 計画の作成に講習等の協力を行 う。	引き続き実施	0									
害の危	接機度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組 水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の	D 水位周知河川の設	9																					
	作成促進等による浸水リスク情報の周知	定	(9)																					

(南角沼市~東京電カリニュ	マーチョ・パロ	(株) 伝達川古舎記(
(岡田没市~田見香カリニュ	ー・アノルハリー	- (2011) 12 (22 III 24 22 PT)

「再度災害防止・軽減	滅」「逃げ遅れゼロ」「社会経 を目指す取組	済被害の最小化」		南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道(株)信濃川	川発電所	f	東北電力(株)長岡発電	支術センター	-	東京電	カリニューアブルパワ-	- (株) 信濃	事業所
	主な取組項目		減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水 対策プレ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治対策フジェク	水	実施内容	時期	緊急策対ジェク
		浸水想定区域図の 作成																							
水位周知河川の 作成促進等に	の拡充、洪水浸水想定区域図の による浸水リスク情報の周知	ハザードマップ策 定		台風19号を踏まえた避難所等の見 園し等、新たなハザードマップの 機器 機器では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点			【短期 台属19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 引き続き検討	令和2年11 月以降	0	台風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 想定量大規模時間に対応したハザードマップを作成済み	v H29.4作成	-	合風19号を踏まえた避難所等の見 直し等、新たなハザードマップの 検討 ハザードマップを策定	【短期】 H29年3月 完成	0			-							
		住民への周知	(8)	表大級の災害を接野に入れ、市民の避難行動につながる情報とあります。 を		0	短期】 の服务を掲野に入れ、市民 の避費行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 引き続き検討	引き続き検討	0	最大域の災害を復野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 マップの提供やホームページでの情報度 を実施	・ 引き続き 実施	_	ハザードマップ周知 ハザードマップホータルサイトの 周知と活用を促進 マップの提供やホームページでの情報度 を実施		0										
		浸水想定区域図の作成		L 2 想定のハザードマップ保存版の作成と全戸配布を検討する。		_																			
支川の氾濫に着 成し、リスク情	着目したハザードマップ等を作 清報を周知	ハザードマップ策 定	8	災害の危険度か伝統として、	l .	0	【短期】 収賞の危険度が伝わるきめ細やか 収賞の危険度が伝わるきめ細やか な情報発信の取組として、支川の 氾濫に着目したハザードマップ等 等へのリスク情報連知を図る。 引き続き検討	令和3年度以降	0	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報会情の取組として、支川の な情報会信の取組として、支川の 記案に著目したのは、サードマッカで の作成・見直しを同り、地域住民 等へのリスク情報差知を図る。 小規模河川の記載を記載を記録の必断がされた ら、ハザードマップを作成する。	引き続き実施		要害の危険度が伝わるきめ細やかな情報会信の取組として、支川の等 び情報会信の取組として、支川の等 辺窓に着目したのリー・地域住民 等へのリスク機会加を図る。 ため途の辺窟推定部を貫存のハザードマ ブに重ね合わせて新たに作成し、関係地 に全戸配布した。		0						_				
		住民への周知	(8)	WTMLAC上午に他でで飲まりる。 最大級の収益を提供に入れ、市民 の避難力を検討したが、 を開発した。 塩野川の支川の県管理河川のし 2 想定の浸水を定と表に合わせ、市に 反映し、浸水リスク情報を開知し し 2 想定の・ザードマンで終存版 の作成と全座が未発送の・ザードマンで終存版 の作成と全座が未発送の・ザードマンで終存版 の作成と全座が未発送の・ザードマンで終存版		0	【短期】 最の受害を視野に入れ、市民 の運賃行動につながる情報提供の あり方を検討し対策を講じる。 引き続き検討	引き続き検討	0	最大級の災害を視野に入れ、市民 の避難行動につながる情報提供の あり万を検討し対策を講じる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	引き続き実施		最大級の災害を視野に入れ、住民 の避難行動につながら情報提供の あり万を検討し対策を講じる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		0										
		土砂災害警戒区域 等の周知・更新	-	の行為とことに知る機能する。																					
土砂災害に関す	する避難情報の周知	土砂災害警戒情報 に関するシステム の整備	-			-			-			_													
農業用ため池のブ等を作成し、	の氾濫に着目したハザードマッ リスク情報を周知	ハザードマップ策 定				_																			
早期避難に向け予測体制の検討	けた精度の高い降雨予測、水位 対	予測システムの精度向上	9			-																			
ケーブルテレビ の強化	ビ、SNS等を活用した情報発信	災害情報等の発信	-																						

	5ものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する (害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」 を目指す取組													アフルハリー(株)信濃川事業所) 東京電カリニューアブルパワー(株)信濃川事業所															
	を目指す取組		****	南魚沼市	時期	$\overline{}$					取 办法	津南町		50 At 16 J	湯沢町		57 At 16 A	弥彦村		87 A 16 de	東日本旅客鉄道(株)借	濃川発電 月		東北電力(株)長岡発電技	術センタ・		東京電カリニューアブルバワー	Π	
主な取組メ	主な取組項目	対策メニュー	めの取組	実施内容 災害の危険度が伝わるきめ緩やか な情報発信の取組として、報道関 を観問と連携した情報発信の強化 を観音		緊急策プレート ジェクト	実施内容 【短期】 災害の危険度が伝わるきめ細やか な情報を値の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化	時期	ジェクト	実施内容 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関 係機関と連携した情報発信の強化 を図る。	時期	ジェクト	実施内容 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の取組とを図る。	時期【短期】	緊急治水 対ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実能内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急策対ジェク					
	マスメディアとの連携強化	報道機関等への情 報提供及び連携		を図る。上述の「は、1000円である」という。 地元エフエム局をはじめ報道機関等に対し領極的に、定例及び随時の情報提供を行っている。			係機関と連携した情報発信の強化 を図る。 引き続き検討	引き続き検討		を図る。上述の「一部の「加か」 新潟県総合防災情報システムの活用や地 元エフエム局と連携し、情報提供を行う。			を図る。 地元エフエム局をはじめ報道機関 等に対し積極的に、定例及び随時 の情報提供を行っている。 関する協定を締結					_											
	住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやすいきめ細やかな情報伝達	19																			○関係自治体との連絡体制整備 未来等の能 間係自治体との円 滑な情報場名を図るため、緊急受 連絡体制の確認等、意見交換を実 施。 関係自治体と意見交換をさせて頂き、緊急 時等の円滑な情報共有体制の整備を実 施。	2021.2~ 3]き続き 実施	-					
	水位計、空間監視カメラ等の整備によるリア ルタイム情報の発信	水位計、監視カメ う等の設置	13						_						_			-											
	浸水想定区域における、企業、危険物管理施 設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理 施設へのリスク情 報の共有		取業の危険度が伝わるきめ細やか 女情報発信の数域として、3次 女情を発信の数域として、3次 学区域における。企業、危険物管 選議院への浸水リスクへの情報供 企業からのサブライチェーン関係 の問い合わせについて適切に情報 提供を行っている。			短期 実書の危険度が伝わるきめ細やか な情報会信の歌館として、浸水型 定区域における。企業、危険物管 理施設への浸水リスクへの情報提 供	引き続き検討	0				災害の危険度が伝わるきの細やかな情報を他の取扱として、2次を な情報を他の取扱として、2次を 定区駆における。企業、危険物管 理解にの浸水リスタへの情報提供 、アザードマップの浸水想定区域等 についての情報提供を行っている。。		0														
<mark>グリーンイ</mark> ■グリーン	ンフラに関連する取組 インフラに関連する取組																												
	自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水 際環境の創出、瀬 瀬の復元	_						_			_						-			_								
	治水対策における多自然川づくり	・湿地環境の創出る性 生息環境の連続性 ・多様の連続の連続で ・多様の ・原理が ・原理が ・原理が ・原理が ・原理が ・原理が ・原理が ・原理が	_																										
	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する 多様な機能活用の 取り組み		小学校にあなる。 中学校にあなる。 中学校にあなる。 一部である生物にし、身質を含めているのである。 中学校にし、身質を含めているのである。 中学校にし、身質を含めているのである。 中学校のでは、中でもできません。 中学校のでは、中でもできません。 中学校の同川選野州につみが近にあなる。 中学校の同川選野州につかが近にかがにあなる。 中学校を知覚達し、同学をやいません。 中学校を知覚達し、同学のであるない。 中学校を知覚達し、同学のであるなのである。 中学校を知覚達し、同学のであるなのである。 中学校のである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのである。 中でのでのでのである。 中でのでのである。 中でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの												東でから大い島、重要計と、以前中等 単位第一 (48年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10	【中期】 【長期】 引き続き												
	魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間 創出	_	る。 あれあい鱼野川プロジェクト: 大 日町地区の魚野川において、駐車 準やウォーキングロード、転車 を整備し、毎年年イベントを開催し 不日町地区の鱼野川において、駐車 本場やウォーキングロード、板並 は、本等を発信して、水立 の場合野川において、駐車 本で、大 の場合の単野川において、 がは、 なりまった。 でいる。 の事件イベントを関値して、 なの場合野川において、 は、 でいる。 の事件イベントを関値して、 でいる。	【中期】																								
	生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐら や採餌場となる 場や湿地環境の保 全・創出																											
	流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と 両立した森林復 旧・再生	-																										
	流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留と ・水田の雨へ下 ・水田の雨の上 ・水田の ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田 ・水田	-															-											

(南魚沼市~東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所)

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」 を目指す取組			南魚沼市		津南町		湯沢町			弥彦村	東日本旅客鉄道(株)信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株) 信濃川事業所				
項目 主な取組 パニュー	主な取組項目	対策メニュー 減災目標 速成のための取組	実施内容	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期 緊急	「白 実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期 緊急治水 対策・プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	実施内容	時期	緊急治水 対策プロ ジェクト	
	遺域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて耐いの場合を せて耐いの場の割 ― 出・魚道整備等																			